
漫画の世界に転生

しまそ。

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

漫画の世界に転生

【著者名】

N1656N

【作者名】 しまぞ。

【あらすじ】 何とも言いたい世界に転生する話

(前書き)

テストの現実逃避に書いてみた。

この世に生を受けはや四半世紀あまり、それなりに順調に生きてきた私の人生は唐突に終わりを迎えた。

最期は呆氣ないもので、アパートの隣の部屋にから出てきた窃盗犯と鉢合わせしてしまい、動転した犯人に腰を抜かした私はあっさり刺されたという具合だ。

未婚で恋人もいなく、職場でもあまり目立たなく、あまり仲の良くない兄が優秀で親から関心が殆どないので、死後の心配が無いのは幸いなのだが……

そんな私は、天使という何とも信じられないような空想妄想全開な存在とにある相談を持ちかけられた。

歩くたびに地面に花が咲き海が割れて金が降る、直視すると死ぬ位美しいと自称するその天使様曰く、私に一次元の世界、詰まる所漫画の世界に転生しないか、といったものだ。

何でも最近死者が多く、地獄も天国も定員オーバーだそうで、スペースが空くまで待たせるより、転生の方が喜ばれるとかでそうなつたそうな。

私は漫画を読まないが、来世はもっと自由に生きたいので転生を受ける事にした。

転生先は、漫画の事は知らないでお任せした。私でも知っている漫画に転生するやうだ。私には心当たりがないが、少年時代に読んだ何かなんだろう。

転生する手続きが終わると、別次元へ繋がる門の所へ案内され、そ

の何やら巨大な門をくぐると、私の意識は其処で途絶えた。

気がつくと私は蛙として新たな生を受けていた。蛙とは言つものの、なぜか一本足で歩いていたり、親の知り合いの兎や猿と同じ大きさだつたり、私の知っている蛙とは随分違つようだ。
そんな私の今世は日本の平安時代の田舎のような世界であったが、どうやら人間は存在しないようだつたが。

そして、私は漸く自分が如何なる世界へ転生したのか悟つた。

かの日本最古の漫画と名高い鳥獸人物戯画の世界であると。

どうしていりなった
たし

(後書き)

反省はしていないが後悔は止のまつ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1656z/>

漫画の世界に転生

2011年12月5日22時51分発行